

はじめに

大田区青少年対策地区委員会は、特別出張所を単位とし、全 18 地区に設けられており、地域の青少年健全育成を目的として様々な活動を行っています。

主な役割は、①育成活動、②環境浄化活動（青少年に悪影響を与える DVD ソフトなどの販売自粛を関係業者に要請するなどの活動）、③関係団体との連絡調整・情報交換などです。

この「青少年対策地区委員会だより」は、活動のふり返りに使用していただくとともに、多くの方に地域で行われている青少年健全育成活動を知っていただくために作成しています。

『地域力』とは・・・

大田区における「地域力」の基本的な考え方

- 1 地域は、そこに住み、働き、学ぶなど、その地域に関わる区民一人ひとりによって構成され、支えられています。また、地域社会においては、人やまちへの思いやりの心と規範意識を持ち、社会的なルールを尊重することが重要です。
- 2 暮らしやすいまちの実現には、区民一人ひとりの力が必要であり、この力が地域力の源です。そして、一人ひとりの力を結びつけることなどで地域力はさらに強くなります。
- 3 自治会・町会、事業者、団体・NPO、区など、地域を構成する様々な主体が連携・協働することによって、地域力はさらに高まります。
- 4 歴史や文化、自然環境、まちなみ、産業など、地域の特徴を活かすことで、魅力ある地域力を創造することができます。
- 5 防犯・防災、福祉、子育て、教育、環境、産業、国際交流、まちの魅力づくりなど、多様化する地域課題を解決するためには、地域力が大切です。

令和6年度 青少年対策地区委員会会長会会長 あいさつ

コロナ禍による行動制限が解除されてから一年、今年度は、パリ五輪（日本がメダルを 45 個獲得）、ノーベル平和賞受賞（日本原水爆被害者団体協議会）、20 年ぶりの新紙幣発行等、明るいニュースがあった一方で、闇バイトが関係した強盗事件等が各地で発生し、未成年者が逮捕されるなど、深刻な社会問題となった年でもありました。

大田区青少年対策地区委員会においては、小学生対象のリーダー講習会をはじめとするさまざまなイベントを大過なく終了することができました。中でも、5 年ぶりの開催となった、第 73 回大田区子どもガーデンパーティーでは、軽スポーツやゲーム大会に人と人との笑顔があふれ、地域のふれあいの場となりました。後日、各地区の会場の様子やインタビューの内容がシティーニュースおおたで放映されましたが、ご覧になられましたでしょうか。

私たち委員の願いは、こどもたちが触れあいを通して、思いやりの心、感謝の心を身につけ、何事にも積極的かつ意欲的に取り組める大人へと成長することです。

顔の见えない生活は悲しいことです。今後も行政、地域、学校等と連携して青少年の健全育成を推進できますよう、一層のご協力をよろしくお願いいたします。



大田区青少年対策地区委員会会長会 会長 石垣 晴子